

# 臨床検査科支部会報 ピペッツVol. 26

2005年10月28日発行

編集責任者 舟田 和幸  
編集委員代表 見手倉久治 近末久美子  
編集発行 川崎医療短期大学同窓会（松丘会）  
臨床検査科支部  
〒701-0194 倉敷市松島316番地  
TEL 086-462-1111（内43097）  
印刷 西日本法規出版(株)

## 佐々木匡秀先生、ご逝去



2005年9月23日、岡山県の岡村一心堂病院にて御家族に見守られる中、安らかに永眠されました。

生前のご厚情に深く感謝するとともにご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

（故佐々木先生は同窓会活動にも深い理解をお示しくくださり、ホームページ開設に際しても2005年1月末に心あたたまるメッセージを寄せてくださいました。それはホームページを運営する役員一同にとってこの上なく励みになるものでした。本誌上にてメッセージの一部を掲載し、心からの追悼の意を表します。（このメッセージは、短大同窓会のホームページにて常時閲覧できます。皆様ぜひご覧下さい。http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/dousoukai/MTshibu/index.htm）

## 佐々木匡秀先生を偲ぶ

### 川崎医療短期大学臨床検査科 1期生 小郷 正則

『川短卒のこの文字は、消しても消えぬ三文字なり、消して消えない文字ならば、書いて喜ぶ人となれ』この言葉を私たちに残され、臨床検査科初代主任教授であり、生涯の恩師佐々木匡秀先生は、平成17年9月23日ご逝去されました。衷心よりご冥福をお祈り致します。佐々木先生は、臨床検査のパイオニアとして、多くの測定法を開発され、中でも臨床化学の超微量定量法は、画期的なものでありました。さらに高知医科大学在任中には、斬新的な発想にもとづく検体搬送ベルトラインシステムを考案され、そしてそれは多くの施設に導入されて実際に全国で稼働しています。その貢献度は、極めて大きいと言わねばなりません。このシステムの導入によって、少人数で多項目の検体処理が可能となり、診療側に、迅速に情報提供ができるようになりました。

佐々木先生は川崎医療短期大学の開学から約8年間、技師教育に専念され、その間、多くの卒業生を送りだされ、活躍にはめざましいものがあります。私と先生と初めて出会ったのは、1973（昭和48）年4月の入学式当日でした。その日は、午前中で帰ることができると思っていた私は、予定を聞いて驚きました。それは、午後にはオリエンテーションがあり、その後2週間のぎっしり詰まった予定を聞かされたからです。実習は、基礎実習1部と2部があり、採量実習、洗浄実習、天秤実習、ガラス細工実習、ラジオキット組立実習及び木工実習（含む掃除実習）などが組み込まれていました。このハードな実習は、遅い日には夜の10時過ぎまで続き、やっと完成したガラス細工作品、木工作品などを前に、学友と我を忘れて、喜びあった日々が思い出されます。しかし、高等学校を卒業したての新入生にとってはまさに地獄の2週間でした。このように佐々木先生は、何事も先頭に立って本気で取り組まれ、これから検査技師を目指す新入生に色々と身をもって教え、導かれました。

その後、この中の数名の卒業生が、高知医科大学中央検査部で世界をあっといわせたベルトラインシステムを完成させるスタッフに育ったのです。

人は二度死ぬといえます。一度は個体の死、もう一つは思い出を忘れられた死です。佐々木先生は今、個体の死を迎えられましたが、生前、我々を心から愛し、いつでも実の息子、実の娘のように行く末を気づかっておられました。もう、佐々木先生のあの声を聞くことも、あの顔を見ることもできません。しかし、我々卒業生の心にはいつまでも佐々木先生と思い出とその姿が残ることと思います。この秋は、ことのほか寂しく感じられます。佐々木先生、安らかに眠りください。（平成17年10月23日）

#### 【ホームページ通信開始を祝して 佐々木匡秀（S48～S56臨床検査科主任教授）】

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）臨床検査科支部長舟田和幸氏（岡山市立市民病院勤務）から、念願のひとつであった臨床検査科支部のホームページ通信が開始間近いので、私から皆さんに、開通を記念してメッセージを発信して貰いたいとの依頼を受けた。

同窓会の活動内容などをより詳細に、かつ迅速に会員に伝達し、会員間のコミュニケーションをより一層円滑に実施するのが第一の目標らしい。大変よい企画であり、是非に実施していただきたいと願っているのは、むしろ私の方からの願いだと、お引き受けした。

実は、小用があって数日前に、久しぶりに川崎医大の附属病院を訪れた。その折、時間に余裕が出来たので、昨年更新されたと言う臨床検査室と病理検査室が見学したくなったので、山本技師長と畠主任にそれぞれ案内して貰った。その時感じたことを皆さんにお伝えしたく筆をとった次第です。

一口に申して、出来ばえの素晴らしい検査室であった。

処々に経験から編み出された工夫が組み込まれ、清潔で働き易そうな実験室の配置、コンピュータシステムに助けられた検査体制に加えて、国立大学の検査室と基本的に異なる点として、スタッフ数の充実さである。正直に言って、一種の“ゆとり”を感じた。

（中略）

事実、今回の検査部見学の途中、技師の一人が“先生！私は今、患者さんの血液について血中薬物濃度の測定法を検討しています。ひとつ、ひとつ分析法を確立して行くのが、大変楽しいです”と言ってくれた。“ほう！ここの検査部は、ついに、血中薬物濃度の分析にまで手を伸ばすまでに至ったのか。それでこそ、本物の検査部だ！君はいい検査部で働いて幸せだね”と労ったところ、“はい、本当に幸せを感じています”と嬉しそうな言葉が返ってきた。次の一瞬、私の脳裏に浮かんだのが、1993年にソウル大学の検査部を見学した時、金相仁教授から患者の薬物濃度解析の重大さを指摘され、しかも当時であって、ソウル大学の検査部には、薬物濃度を解析する部署と数名のスタッフが配置されていたことである。先見の明と検査部の“ゆとり”に感激を覚えたことを、思い出したのである。

見学を終えて感じたことは、医療費の高沸対策を理由に検査技師数の削減する病院が続出する時世に、逆に検査部や病理部を新設拡大し、より一層の充実さを図った川崎学園の健全な運営に、改めて敬意と何故か有難いという感謝の気持ちが沸いてきた。

この様な頼もしい学園を巣立たれた同窓生の皆さん、貴方がたが、これからも医療関係の職場で、自信と勇気に加えて誇りをもって人生を過ごされるためには、色々な試練に遭遇されることが多かろうかと思えます。その問題点の幾つかが検査に関する知見等であれば、その時こそ、かつて、共に学んだ友達同士で湧き出るアイデアと意見を交換する手段として、このホームページがきっと役立つと信じて止みません。

臨床検査支部ホームページの通信開始を祝し、貴方がたの後輩の多くが、新しい知見を得るために楽しそうに働いている姿をこの目で見たことと、貴方がたの母校が健全であることをお伝えして、その昔皆さんと共に過ごさせて貰ったこの私を誇りに思っております。

筆を置くに当たり、学園を創設された故川崎祐宣先生、病院そして検査部の運営の基礎を築かれた故柴田進先生の偉大さに改めて尊敬していることを、加筆させていただきます。

同窓会では、佐々木先生へのお別れの言葉を受け付けます。

メッセージを以下の手順でメールにしてお送りください。皆様から贈られた言葉はご家族にお届けする予定です。

なお、携帯電話からは送信できませんので、あらかじめご了承ください。

#### 【追悼メッセージの送り方】

1. 川崎医療短期大学同窓会（松丘会）

臨床検査科支部ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/dousoukai/MTshibu/index.htm>



3. [佐々木先生メッセージ] をクリック



4. メッセージの末尾にある [ホームページ責任者連絡先] をクリック。メール作成画面を開く。メッセージをメールにして送信してください。

メールには卒期または卒年およびお名前（旧姓も）の表記をお願いします。

川崎医療短期大学  
同窓会（松丘会）

臨床検査科支部ホームページ

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/dousoukai/MTshibu/index.htm>

## 平成17年度 事業計画

平成17年7月16日に行われた代表者会で、今年度の事業計画が下記のように決定、承認されました。

### 1) 学生との交流

第12回臨床検査科交歓会を開催いたします。詳しくは下記の《お知らせ》をご覧ください。

### 2) 国家試験対策

第52回臨床検査技師国家試験に向けて、同窓生による「国家試験直前講義」を行います。

### 3) ピペットの出版

今年度は26、27号の発行を予定しています。

### 4) 中四国学会時の同窓会の開催

今年は愛媛にて開催されます。詳しくは下記の《お知らせ》をご覧ください。

### 5) 同窓会ホームページの開設・更新

平成17年6月1日（水）に開設いたしました。11月上旬に更新予定です。是非ご覧ください。

### 6) 各期の同窓会開催への援助

各期で同窓会を行う際は同窓会より援助金ができますので連絡して下さい。

## お知らせ

毎年恒例の中四国合同同窓会と学生との交歓会を下記の日程にて開催します。

皆様ふるってご参加下さい。

### 〈平成17年度 中国四国合同同窓会のご案内〉

日時：平成17年11月5日（土）

場所：居酒屋「晴れたり曇ったり」〈全日空ホテル、三越近く〉

Tel：089-933-5693

（18：45 全日空ホテルのロビーに集合）

幹事：5期 浜田 27期 篠原

### 〈第12回 臨床検査科交歓会〉

日時：平成17年11月19日（土）15：30 集合

場所：サンフラワーボール（川崎医大近く）

会費：500円（靴代は別）

ボーリング大会終了後、懇親会を予定しております。（会費は別料金）

幹事：川崎医科大学附属病院 中央検査部 柴田（19期）

TEL：086-462-1111 内線82118

e-mail：shibata@med.kawasaki-m.ac.jp

## 会計報告（16年度）

自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日

(収入の部)				
項目	予算額	収入額	差異	摘要
入会金	260,000	255,000	△5,000	30期生(51名分)
同窓会費	478,800	437,000	△41,800	
新入会費	260,000	255,000	△5,000	30期生(51名分)
10年毎会費	218,800	182,000	△36,800	7期1名、9期15名、16期1名、18期2名、19期11名
助成金(本部より)	170,000	170,000	0	
寄付金	0	0	0	
預金利息	100	10	△90	
雑収入	0	8,963	8,963	ボーリング大会残金
前期繰越金	1,649,584	1,649,584	0	
収入合計	2,558,484	2,520,557	△37,927	

(支出の部)				
項目	予算額	支出額	差異	摘要
会議運営費	290,000	104,563	185,437	
代表者会運営費	100,000	54,023	45,977	
理事会運営費	70,000	15,440	54,560	
部局会運営費	70,000	35,100	34,900	
各種委員会費	50,000	0	50,000	
事務費	340,000	42,854	297,146	
通信費	200,000	11,370	188,630	切手
消耗品費	100,000	30,034	69,966	インクカートリッジ、ファイル
振込手数料	10,000	1,450	9,550	郵便振込み手数料
印刷費	30,000	0	30,000	
会議発行費	900,000	657,970	242,030	
印刷費	600,000	424,200	175,800	24、25号
発送費	300,000	233,770	66,230	
慶弔費	30,000	49,076	△19,076	小郷先生会長就任、故山下先生弔電等
奨助金	425,000	221,620	203,380	
卒業時奨助金	30,000	30,000	0	
各期奨助金	150,000	30,000	120,000	23期、29期
地域支部奨助金	45,000	15,000	30,000	中国学会時同窓会(広島)
在校生奨助金	200,000	146,620	53,380	ボーリング大会、国試対策
旅費交通費	50,000	0	50,000	
雑費	50,000	19,000	31,000	会費の返納
積立金特別会計繰出	50,000	50,000	0	
予備費	423,484	0	423,484	
支出合計	2,558,484	1,145,083	1,413,401	

積立金特別会計(収入の部)				
項目	予算額	決算額	差異	摘要
一般会計から繰入金	50,000	50,000	0	30周年記念事業
前期繰越金	150,000	150,000	0	
合計	200,000	200,000	0	

積立金特別会計(支出の部)				
項目	予算額	決算額	差異	摘要
一般会計から繰出金	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合計	0	0	0	

## 予算（17年度）

自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

(収入の部)				
項目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
入会金	260,000	260,000	0	31期生(52名分)
同窓会費	513,200	478,800	34,400	
新入会費	260,000	260,000	0	31期生(52名分)
10年毎会費	253,200	218,800	34,400	(10期49×7000、20期58×5000)×0.4
助成金(本部より)	170,000	170,000	0	
寄付金	0	0	0	
預金利息	100	100	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,375,474	1,649,584	(274,110)	
収入合計	2,318,774	2,558,484	(239,710)	

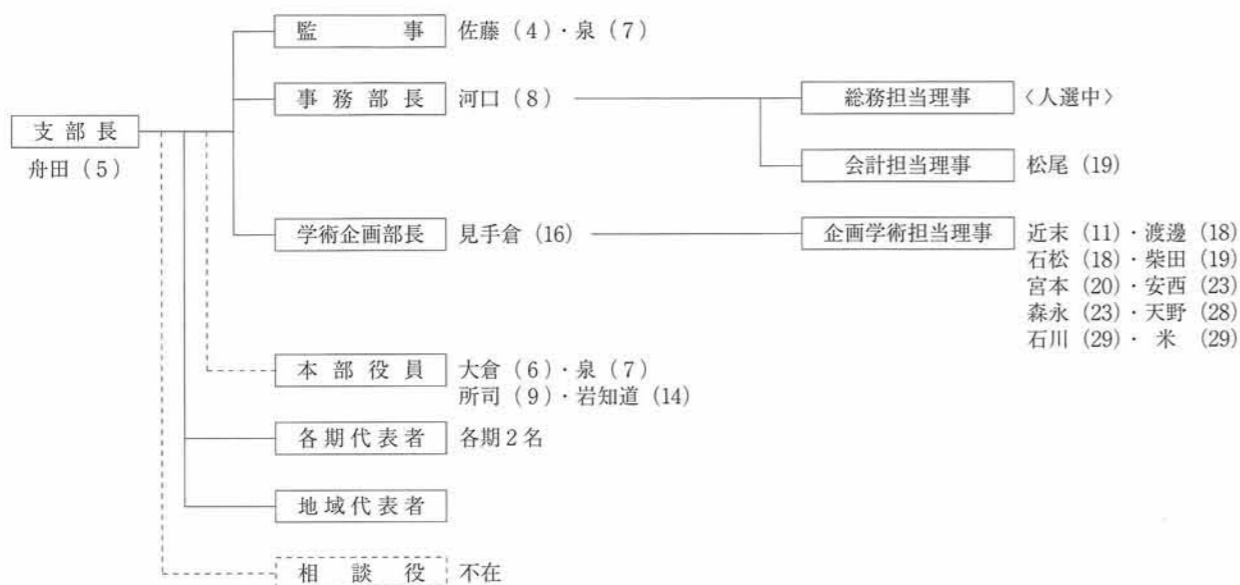
(支出の部)				
項目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
会議運営費	290,000	290,000	0	
代表者会運営費	100,000	100,000	0	
理事会運営費	70,000	70,000	0	
部局会運営費	70,000	70,000	0	
各種委員会費	50,000	50,000	0	
事務費	340,000	340,000	0	
通信費	200,000	200,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
振込手数料	10,000	10,000	0	
印刷費	30,000	30,000	0	
会議発行費	900,000	900,000	0	
印刷費	600,000	600,000	0	25、26号
発送費	300,000	300,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
奨助金	425,000	425,000	0	
卒業時奨助金	30,000	30,000	0	
各期奨助金	150,000	150,000	0	
地域支部奨助金	45,000	45,000	0	中国学会時同窓会(愛媛)
在校生奨助金	200,000	200,000	0	
旅費交通費	50,000	50,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
積立金特別会計繰出	50,000	50,000	0	
予備費	183,774	423,484	△239,710	
支出合計	2,318,774	2,558,484	△239,710	

積立金特別会計(収入の部)				
項目	予算額	決算額	差異	摘要
一般会計から繰入金	50,000	50,000	0	30周年記念事業
前期繰越金	200,000	150,000	50,000	
合計	250,000	200,000	50,000	

積立金特別会計(支出の部)				
項目	予算額	前年度決算額	差異	摘要
30周年記念事業	147,000	0	147,000	ホームページ作成
一般会計へ繰出金	103,000	0	103,000	ホームページ作成残金
合計	250,000	0	250,000	



## 臨床検査科支部 役員組織図 (平成17年10月1日現在)



## 同窓会報告 (1)

### 第23期生

小野田有希、金本 愛子、佐藤麻理恵、山下 陽子

卒業してから初めての同窓会ということで、岡山県内外から23名が参加して下さり、約6年半ぶりに再会を果たしました。(遠方はるばる鹿児島から来てくれました!) この場を借りて、参加してくれた皆に「ありがとう!」会った瞬間に学生の頃に戻った様に、飲んで、騒いで、お互い近況を確認しました。結婚されて子供がいる人、現役で頑張っている人、新たな道を志している人など、短大卒業後はそれぞれ色々な人生を歩んでいることが分かりましたが、短大3年間の学生時代の苦楽を共にした仲間の固い絆を再確認した人も多かったのではないかと思います。

当時担任をして下さった小郷先生も同窓会に参加して下さい、短大時代の打ち上げのような雰囲気の中にも、お互い社会人としての深い話などもでき、やはり Mr. OGO あっての23期生だと思いました!(小郷教授、失礼な言い方ですいません)

こうして皆で会うというのはなかなかできないので話が弾み、中には3次会まで行った方もいるのはいうまでもありません。次も絶対集まろうと固く誓い、楽しい同窓会は終了しました。皆さん、本当に良い笑顔で写真に写っていて、また一つ思い出の1ページが刻まれた事でしょう。再び皆で会える日を楽しみにしています。次回は皆で温泉に1泊とかも良いですね。今回残念ながら参加できなかった方も次回は是非参加してくださいね。



## 同窓会報告 (2)

### 第29期生

米 亮祐



先日、8月7日(土) 19:00より岡山市の「隠屋彩唐(かくれがさいど)」にて、同窓会を行いました。今回、夏のお祭り等と重なったため、15人と少ない人数でしたが、会は非常に盛り上がり、みんな楽しく、会話・食事することができました。

### 2005年10月

## 短大 トピックス

### ○新学科スタート

平成17年4月、川崎医療短期大学に新学科として「医療保育科」がスタートしました。医療保育科は基礎医学・医療知識を備えた専門性の高い保育者の養成をめざすわが国初の学科です。1期生は女子71名、男子6名の計77名でスタートし、「保育原理」「子どもと表現」「音楽」などの講義や実習を行っています。オープンキャンパスなどでは学生による手遊びの模擬実習等も行われ、評判も上々でこれからの期待できる学科です。

### ○入学前学習支援

川崎医療短期大学では、特別入学試験および推薦入学試験で合格した方々を対象に、平成15年から入学前学習を実施しています。改訂を重ねた資料集を作成し、医療福祉関係のニュースを題材としたレポートや化学・生物などの基礎的な課題を課しています。入学後も継続して学習ができ

### 入学前学習資料集

[2005]



川崎医療短期大学

### ○医療福祉教養講座の開催

平成16年9月より、全学で医療福祉教養講座が開催されています。幅広い一般教養の獲得と専門教養の深化という日本の柱を目的とされているもので、今年度は「ほけても安心できる社会を」(社呆け老人をかかえる家族の会 岡山県支部の代表 妻井令三)や「性感染症の恐ろしさについて」(助産師・新生児等訪問指導員 岡邊百合枝)についてなどすでに3回の講義が開催され、残り2回が予定されています。

### ○学報リニューアル

川崎医療短期大学学報は第49号から年4回発行

のカラー版となりました。学生や教職員だけでなく、保護者の皆様やオープンキャンパスなどでの来学者などに、もっと広く短大のことを知っていたこうと広報的な目的でリニューアル版となりました。名称は、教職員の公募により、学歌のタイトルでもある「若きいのち」が選ばれ、いのちが輝き、生き活きとした学校であるようにとの願いがこめられています。



→ (みやま) 公園を利用してポリントオリエンテリング等でさわやかな汗を流しました。

■平成17年4月から1年間の予定で中国からの留学生が臨床検査科で学んでいます。前期は短大で講義や実習に参加し、後期は病院病理部で専門の解剖生理学関係の研究を実施しています。言葉の違いはありますが、懸命に励まれています。

■平成17年度の国家試験結果がでました。今年度の臨床検査科の合格率は100%で、全国の合格率は75.2%でした。臨床検査の世界では、日々新しい技術や検査が増えつつあり、国家試験問題も少しずつ様変わりしているのが現状です。時代に即した教育が行えるよう短大および病院スタッフは、日々進化しなければならない時が来ています。

■平成17年9月24日(土)臨床検査科授章式が行われました。新たに2年生63名がワッペンを授与され、守田哲朗学長と松田信義主任教授から激励の言葉をいただきました。2年生前期までの基礎的な講義や実習を終え、いよいよ病院実習が開始される節目の式で、決意を新たに誓いの言葉を述べました。

### ○体験学習会・オープンキャンパス開催

5月28日(土)に介護福祉科・医療保育科の体験学習会が、6月18日(土)(第1回)と7月31日(土)(第2回)に全学オープンキャンパスが開催されました。各会とも盛況で、特に第2回のオープンキャンパスは受験生・保護者計754人と過去最高を記録しました。当日は主会場の大講義室をはじめ、映像・音声を流した副会場の学生ホール・一般講義室もほぼ満員で、臨床検査科の体験実習会場も大盛況でした。大学全入時代に向け、オープンキャンパス等の機会では本学の特長や教育理念・方針等を強くアピールしていく動きになっています。

### ○検査科の行事

■平成17年4月8日(金)新入生の親睦を図ることを目的とした学外研修が実施されました。今回は玉野市の玉野スポーツセンターと近くの深山



## 編集後記

うだるような暑い夏も終わり、朝晩がめっきり涼しくなりました。同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回のピペッツは佐々木先生の訃報という残念なお知らせと、同窓会ホームページ開設という新しい取り組みをお知らせさせていただきました。ここに改めて佐々木先生のご冥福をお祈りしたいと思います。

同窓生の情報交換の場として活用していただきたくホームページを開設しました。ピペッツとあわせて、よりタイムリーな情報を皆様にお届けできるようがんばります。皆様からのメッセージやご意見をお待ちしております。

(見手倉)